

2021年9月29日

パナソニックのHUDがトヨタ自動車株式会社の新型「アクア」に採用 HUD表示の最適化で小型化と鮮明・低歪な映像を両立

パナソニック株式会社 オートモーティブ社のHUD (Head Up Display) が、トヨタ自動車株式会社の新型「アクア」(2021年7月19日発表)に採用されました。パナソニックのHUDがトヨタの小型乗用車に採用されたのは、「ヤリス」「ヤリスクロス」に続く3車種目となります。



新型「アクア」(写真提供: トヨタ自動車株式会社)



HUD 本体

HUDは、フロントガラスへ映像を投影することで、ドライバーの視線の先に車速やナビゲーション等のさまざまな情報を表示するシステムです。ドライバーの視界の中心近くに表示することで、視線移動によるドライバーの負担を軽減し、安全運転に貢献します。



HUD 表示イメージ (写真提供: トヨタ自動車株式会社)



HUD 表示図

開発にあたっては、デジタルカメラの開発で培ったパナソニックの光学技術を生かしたフル自由曲面ミラー、高輝度PGU (Picture Generation Unit)の技術を用いて、本体の小型化と低歪かつ明るく鮮明な画面を実現しました。

開発技術の概要:

(1) フル自由曲面ミラー

デジタルカメラの開発で培ったレンズ設計・レンズ成形技術を活用した高精度のフル自由曲面ミラーを採用。

限られた車両空間の中でHUD表示を車両のウィンドシールド形状に最適化することで、HUD本体の小型化と鮮明・低歪な映像投影を同時に実現しました。

(2) 高輝度PGU

液晶ディスプレイの照明技術を応用した独自のHUD向けバックライト設計により、直射日光下やサングラス越しのような表示が見えにくくなる状況においても、ドライバーに鮮明な画像を提供。

パナソニックは今後、普及が期待されるHUDの領域において、リーディングカンパニーを目指します。当社の強みを生かしたHUDの開発・納入を通じて、安全・安心で快適なドライビング環境に貢献してまいります。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。